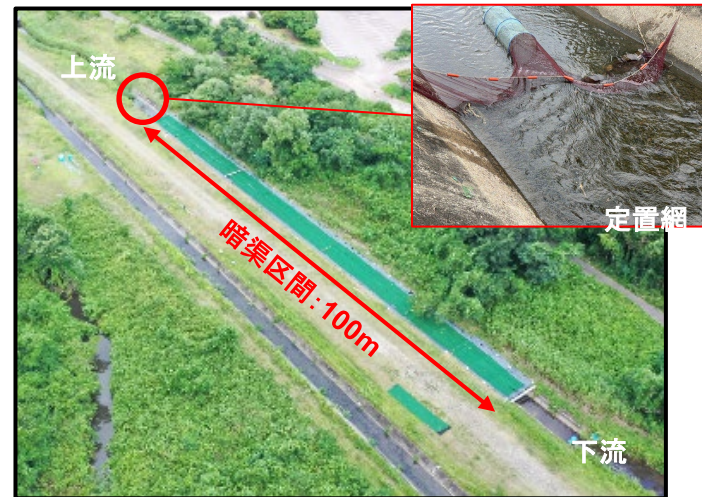


- アユが暗渠条件においても遡上するか確認するため、土木研究所自然共生研究センター(岐阜県)の実験河川において、アユの遡上実験を実施。
- 結果、暗渠条件の場合においても、アユが遡上することを確認。

<実験概要>

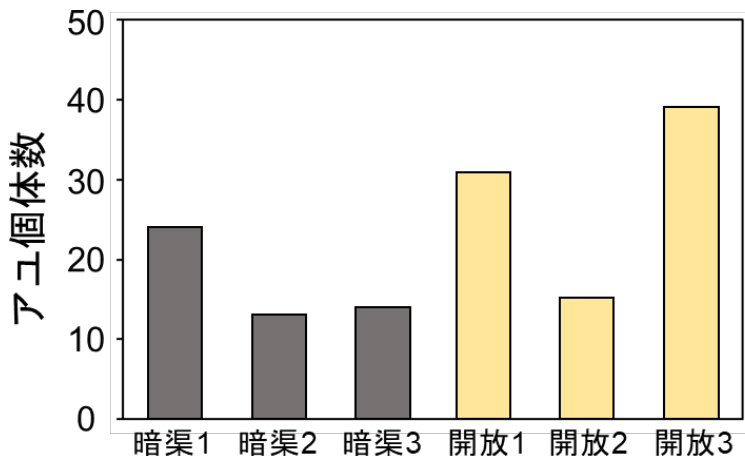
- ・同一の実験水路を用いて暗渠条件→開放条件の順に3回の実験を繰り返し行った。
- ・実験水路下流でアユを各43匹放流、その後3日間で実験水路上流に設置している定置網内で捕獲された個体数を計測(1日1回計測)。
- ・暗渠条件の実験日程; 2024.6.12~14(暗渠1)、7.2~4(暗渠2)、7.9~11(暗渠3)
- ・開放条件の実験日程; 2024.6.18~20(開放1)、6.25~27(開放2)、7.17~19(開放3)
- ・実験水路内の環境; 流速0.3~0.7m/s、水深15~25cm、水温23~24℃
- ・使用したアユ: 養殖アユ(体長約10cm ~ 15cm)



自然共生センターの実験河川

<結果>

- ・暗渠条件でもアユが遡上していることを確認



(参考)アユ以外の在来魚の遡上も確認(2024.6~7)

魚種	暗渠	開放
アブラハヤ	2	0
カマツカ	88	6
フナ	3	2
カネヒラ	14	5
カワヨシノボリ	5	1
コイ	5	3
モツゴ	4	1
ナマス	1	0
ニゴイ	1	0
オイカワ	124	99
オオクチバス	2	19
タイリクバラタナゴ	6	0
タモロコ	40	14
トウカイコガタスジシマドジョウ	92	3
ツチフキ	9	0
ウキゴリ	1	0
ウナギ	1	0
ゼゼラ	28	3
カムルチー	0	1
合計	426	157

※ カマツカ : 川辺川の流水型ダムサイト付近に生息している種
 ※アユ以外は放流していないので、数は参考。